

## 2024 いた納め&山菜まつり in 月山・清川行人小屋

日時:2024年5月18日~19日

メンバー:A原、Y科、K林、H口、K野

今シーズンも板納めは月山！もう何年も飽きもせず通いつけている。  
今回のメンバーのうち、私とY科さん以外の3人が清川行人小屋初見参。K野ちゃんは名古屋から遠路はるばるの参戦。  
もうみなさん、楽しんじゃってください！

### ■5/18(土)快晴

いた納めであり山菜まつりでもあるが、山菜は道の駅で調達する。本来なら自力で採取するのがベストであるが、時間もないし、ここいらは「山菜採り禁止、採ったらウン万円」の看板多しなので、不本意ながら山菜は購入することにする。

9時営業開始の道の駅の産直で買った山菜は、ウレイ、ワラビ、シオデ、ウド(芽)、アイコなど。  
時季外れやセシウムの関係でコゴミとコシアブラは入手できずだった。

月山スキー場の駐車場はすでに満車で志津温泉の臨時駐車場に案内されるも、下山が本日でなく日曜であるので臨時駐車場へのシャトルバスが使えないのを理由にスキー場の駐車場に停めることができた。

駐車場で、買った山菜を荷分けしていると、駐車場のおじさんからオレんチのとなら山菜なんて腐るくらいある、なんてことを言われたので、どこどこそれどこよ？と食欲に聞いたもんだからおじさんは苦笑いしていた。

山菜で重くなったザックを背負って、10:10歩き出し。

リフト乗り場は長蛇の列。最後尾に着くまでに結構歩かされて大汗をかく。

リフトからは青空をバックに眩しいくらいの新緑、背後にはまだ白が多い朝日連峰が見えた。ゲレンデには藪のかたまりが浮島のようにところどころ出ていた。

11:10リフトトップをスタート。ここもさえぎるように藪が出ていたのでちょっと迂回した。

ここ例年のいた納めは、月山山頂には出ず、四ツ谷川を横断しc1696尾根を登り藪を漕いで胎内岩に出るショートカットを行くことが多かったが、下から見たところ藪の部分が例年になく多く黒々としているので、素直に正規ルートに行くことにした。  
まあ、K野ちゃんは月山山頂お初であるしね。

天気は上々、暑いくらい。おかげで雪はザラメちゃん。

ザクザクとシール歩きをし、12:55雪が切れたところで板を担ぐ。ブーツでの登山道登りを25分ほどするとやっと平坦な箇所になり、月山神社のそばで荷を下ろした。

せっかくだからみんなで月山山頂に行きましょう。

月山山頂からは白と緑の美しいゼブラ柄の稜線や山肌、霞がかかっているが朝日の峰みねが望めた。広大な庄内平野、ほんやり鳥海山や粟島も見えた。



K野ちゃんとHリーは月山本宮に合格祈願？家内安全？厄除け・方位除け？でお参りに行くが、神様はまだお休み中だよ～。



大雪城



小さく清川行人小屋がみえた

さてと。では大雪城を滑降しましょうか。

懸念していた縦溝も板掴みの妖怪も無くストレスフリ～。どこまでもどこまでも滑っていける。

白い海原を行こう。緑の笹藪の島々をかわしながら泳ぐように 行こう。

シマウマのたてがみのような平らな尾根が見えて、目を凝らすと赤い屋根の清川行人小屋がちょこんと見えた。

さあここからのバーンは小屋まで急斜を攻めるも、滑りを惜しむようにゆっくり滑るもどうぞお好きなようにシュプールを描いてください。

小屋の回りはすっかり雪が無くて藪の中に夏道が出ていた。カタクリの小路に行く。

チューブからシューシュー音を出して水が流れていた。

小屋の桜は寡雪のせいか暖冬のせいか、ほとんど葉桜となっていたがわずかに残っていたかわゆらしい花卉。いつか、小屋の桜の満開の時季に来たいものだ。

小屋にはすでに3人パーティが寛いでいた。

外宴会をするには陽ざしが痛そうなので小屋ですること。残雪にビールを冷やして、2階に寝床を作って、テーブルを出して宴会場をこしらえたら、さあ、乾杯。

買った山菜は次々にツマミになっていく。

かんちゃんが町中華の大将よろしくフライパンをしゃかしゃかカンカン振るふる。(動画参照)

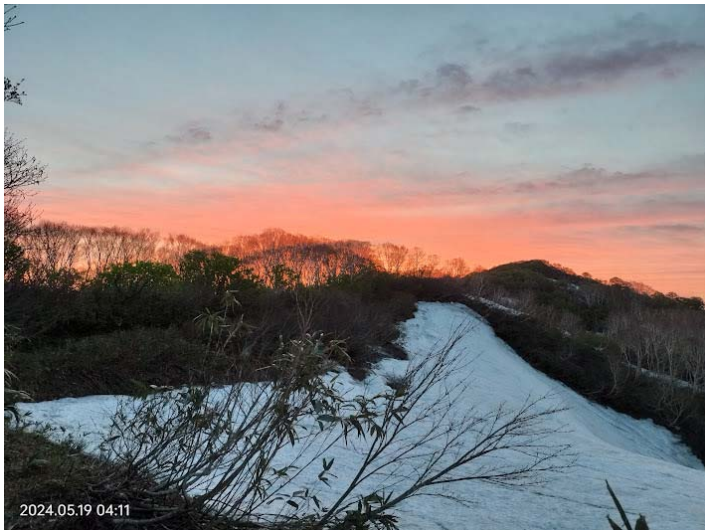
これでもかってくらいに山菜をたくさん食べ、はらくち～。

20時過ぎ、3人パーティがお休みされたので、私たちは2階に移動しちびちび呑んだ。



町中華の大将→





### ■5/19(日)きのうより快晴

小屋の毛布2枚+インナーシュラフだったが、寒くなく熟睡できた。

窓の外がうっすら明るくなってきた。まだ4時。

ひとり外に出てみると、東の空が鮮やかなオレンジ色に輝いていた。向かいの白いバーンはピンクに染まっていた。オレンジ色の空がやがて黄金色になり、そして水色が優勢になって、朝の景色になっていく。今日も好天に違いない。

朝も山菜づくし。あく抜きしたワラビは香りとネバネバを楽しんだ。大量の山菜とキノコを入れた月山山菜そばと、行者ニンニクとベーコンでペペロンチーノ。

買った山菜は一本残さず一枚残さず完食しました～。

植物繊維が豊富な山菜のおかげか、はたまた高齢のため歯間に隙間ができたせいか、みんなシーシー歯間そうじ。

小屋のそうじも済ませ、利用料1000円を納めて、8:50小屋出発。

お世話になりました。また来年ね。

大雪城を黙々歩く。朝日連峰が昨日よりすっきり見えていた。全方向、視界良好なので気持ちのいいハイクアップだ。緑の浮島ではゴーゴー雪解け水が流れていた。

c1950で夏道がでてきたのでシートラで歩いた。頂上小屋を見送り、下りになる。すでに今日の登山者がどんどん登ってきていた。中にはハングル語も聞こえた。

ブーツで歩きづらい登山道をいき雪上に降り立つ。滑降待ちのスキーヤーやボーダーもちらほら。どこすべる？これでスキー納めだから、食欲にもったいぶってしつこく滑りたいよね。ラインを決めていざ！四ツ谷川に向かって滑った。重くも引っ掛かりもなく気持ちよく滑れた。たのすい～。

50mほど登り返して、スキー場ゲレンデに戻った。ゲレンデではコブ選うだったので、スキーヤーの邪魔にならないようおとなしく滑降してきた。13:10駐車場着。グータッチして今シーズンいた納めを終了した。

今シーズンありがとね。楽しませてもらいました。また半年後よろしくね、の思いで板とブーツを洗った。大好きな山スキーシーズンが終わってしまっても寂しい気持ちだ。

山スキーロスは、沢登りとハイキングで乗り切ろうか。

今晚は、大井沢の民宿さくおに泊まって慰労会。3月以来2度目の宿泊。かんちゃんもGWのときもお世話になっているから今年3度目。もう、ギンザ御用達お宿だね。ふかふかのお布団、美味しい山菜料理、穏やかな女将さん、ほんと居心地のいいお宿だ。



■5/20(月)朝から雨。

女将さんに見送られながら宿を発つ。

仙台の実家に帰るK野ちゃんと寒河江で別れ、残りのメンバーはのんびり帰京した。

名古屋から遠路はるばる参加してくれたK野ちゃん、お疲れさまでした。

みなさん、酔狂な山行にお付き合いありがとうございました。

また来シーズンのスキーではどうぞ遊んでください。

そしてまた、いた納めと山菜まつりを清川行人小屋でしましょ♪

おまけ

【～小屋で作った山菜お品書き～】

～土曜の夕餉～

シオデのお浸し

シオデのごま和え

シオデとウルイのマヨ炒め

カタクリの酢みそ

ローストビーフ ウルイ添え

ウルイの酢みそ

タケノコのサバ缶汁

タケノコご飯

行者ニンニクみそ

行者ニンニクのナムル



～日曜の朝食～

ワラビのお浸し

月山山菜そば

行者ニンニクとワラビのペペロンチーノ

【コースタイム】

5/18(土) 11:10 月山スキー場リフトトップ～13:20-14:08 月山山頂～大雪城滑降～14:30 清川行人小屋(泊)

5/19(日) 8:50 清川行人小屋出発～11:55 月山滑降～13:10 月山スキー場駐車場(民宿さくお泊)

5/20(月) 帰京

おしまい